



幸せな贈り物



主人をなくした

Merry Christmas

メリークリスマス VS ハッピーホリデー

クリスマスを控えて、地球のあちこちで「クリスマスのアイデンティティー」を囲んだ熱い論争がなされています。キリスト教文化圏なのでイエスの誕生日であるクリスマスを当然に記念するはずのヨーロッパとアメリカでの事情は、むしろさらに深刻です。キリスト教の伝統により、イエスの誕生を祝うか、そうでなければ民主主義と政教分離原則に合うように宗教的多様性を認めるかが論争の核心です。ジョージ・ブッシュアメリカ前大統領は、赴任当時、知人と支持者 140 万人にカードを送りました。クリスマスを迎えて送ったカードでしたが「メリークリスマス」のようにクリスマスを連想させる表現はもちろん、サンタクロースやツリーも見当たりませんでした。「希望と幸せが宿るホリデーになることを祈ります」という言葉を代わりに入っていました。最近、アメリカでオバマ・アメリカ大統領が、カミング希望のメソジスト教会の主任牧師に送ったビデオクリスマスカードにも「メリークリスマス」の代わりに「ハッピーホリデー」Happy holidays と記されていまし

た。カードを受ける人がクリスチャンでない場合「クリスマス」という表現に不快かもしれないということが理由でした。今はアメリカのホワイトハウスもイエス様が誕生された日であるのに「クリスマス」Christmas という単語を使うことができません。なぜなら、他の宗教の顔色を見るためということです。クリスマスが一つの休日以上の意味を持つこともできない時代になりました。また、アメリカのシアトル空港は、熱心に設置したクリスマスツリー15個などクリスマスの飾りをすべて撤去しました。この地域に居住しているひとりのラビが空港側に「クリスマスツリーをすべてなくしてユダヤ教式大型燭台を設置しなければ告訴する」と威嚇して、これに空港側が「すべての宗教の要求をみな受け入れることはできず、宗教的多様性を尊重するために、いっそクリスマスの飾りをなくす」と釈明しました。ヨーロッパの事情も大きく違います。英国の日刊紙デイリーメールは、10日に今年のクリスマスを控えて売れたカード中で宗教的メッセージが入ったものは1%にしかならないと伝えました。英国教会のスポークスマンは「商店と消費者に強要するわけにはいかないが、クリスマスであるだけにイエスの誕生の意味を再確認できるカードをプレゼントするのが正しい」という公式の論評まで出しました。

クリスマスの主人公であるイエス・キリストは、なぜこの世に来られたのでしょうか

インドで働いている宣教師の体験談です。ある日、彼はヒンズー教の僧侶ひとりといっしょに道を歩いて行くことになりました。道を行く中に、彼は失敗をして道端にある蟻の巣を足で踏んでしまいました。そのせいで、蟻の巣がつぶれてしまったのです。その中にいた多くの蟻たちが足に踏まれてケガをしたり死んだりしました。すると、ヒンズー教の僧侶がそれを見て悲しみながらこのように話しました。「あなたのせいで数多くの蟻が命を失いましたね」その話を聞いて、その宣教師は申し訳ないと話しました。「申し訳ありません。私がおぼろげとしたのではなくて、自分の足の指に目がなくて、私も気づかないうちに失敗してそうだったのです。私がどのようにすればあの蟻たちに悪かったと謝罪ができるでしょう」とすると、ヒンズー教の僧侶は改まった顔になって、このように話しました。「あなたが蟻たちに謝罪したいなら、あなたは死んで、もう一度、蟻として生まれなければならないのです」ヒンズー教は仏教と同じように輪廻説を信じます。だから、その思想によれば、蟻に謝罪をするためには蟻としてもう一度生まれる方法の以外には他の方法がありません。その話を聞いた瞬間、宣教師はこのように返事をしました。「あ、そうですね。まさに同じ理由のために神様は人の姿をとって、この世に来られました。その方がまさに私たちの主イエス・キリストです……」

だれがなんと言っても、魚は水の中に生きてこそいのちがあって、鳥は空を飛んでこそ自由で、木は地に根をおろしてこそ実を結ぶように、私たちの人生もまた神様とともにいる創造の原理に従って生きていく時だけ幸せなのが、人間の本来の姿です。霊的な存在として造られた人間が神様を離れた瞬間、水を離れた魚のように喉が渇いてもがいて、鳥かごに閉じ込められた鳥のように人生が苦しくて、根が抜かれた木のように実もなく枯れていくしかない人生の呪いを避けられなくなりました。人間が解決できない根本問題、成功の後に訪ねてくるむなしさと繰り返す非理性的な問題、生きていくほど訪ねてくる不安と恐れ、最も理性的で科学的な人間が、魚に

お辞儀をして、木と動物、石をおがみ、お守りに頼って、車にステッカーを貼って安全を期待する愚かさ、生活の便利さと関係なく訪ねてくるうつ病と精神問題、日に日に増えていく性的な暴力と悪い犯罪のくり返し、増えていく病気と崩れていく肉体の健康と人間関係、未来に対する不安と、結局、行かなければならない死と地獄という永遠な苦しみと刑罰の恐怖、ここにまた繰り返すしかない不幸の相続... はたして、ないと話すことも、私ではないと拒否することもできるでしょうか。

このように、人間が話すこともできない苦しみの中にさまよっているとき、神様は人間に向かって最高の約束をくださいました。「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです」(ヨハネの手紙第一 4:9)、「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます」(ローマ人への手紙 5:8) 神様は神様を離れて運命というサタンがもたらした暗やみの中に生きていく人間を愛してくださいました。そして、あわれんでくださったのです。それで、自分も知らずに暗やみの勢力と罪の呪いの中で生きていく人間を救うために、私たちと同じ肉を着て、人の姿で訪ねて来てくださったのです。それで、十字架で死んで復活されることによって、人間が解決できない根本問題を解決してくださったのです。そして、だれでもイエス・キリストを受け入れる人、すなわち、その名を信じる人々は運命の呪いから永遠に解放されて神様の子どもになる権威をくださると約束してくださいました。これがまさにクリスマスの聖誕祭を与えてくださった神様の真の愛です。だれでもイエス・キリストの名前を呼ぶ者は救われるようになるのです。

「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)
(マタイの福音書 1:23)

聖誕祭の正しい理解

クリスマス **Christmas** 「クリスマス」ということばは「油を注がれた者」という意味の「キリスト」**Christ**と「日、記念日」という意味の「マス」**mass**を合わせたことばで、人間を救おうとイエス・キリストがこの世に生まれてくださった日を祝って礼拝するという意味です。ルカの福音書2章11節に「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです」とおっしゃいましたが、人間を救うキリストがまさに「イエス」です。マタイの福音書1章21節を見れば「マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です」と言いました。したがって、クリスマスは人間に向かった神様の最も大きい喜びの知らせが伝えられる日で、人間が解決できない原罪、呪いと運命、サタンの権威を解決する解答が与えられた日です。

クリスマスのお祝い キリスト教成立以後、はじめの300年間は、クリスマスのお祝いはありませんでした。なぜなら、すべての教会の関心が、ただ十字架に釘づけられて復活し昇天された王であるイエス・キリストにだけ集中していたためです。それで、教会は受肉について深く考えなかったのです。しかし、時間が過ぎて、キリスト教の思想家が主の性格についてももう少し深い関心を持つようになりました。その時から教会も受肉の奥深い意味に目を回すようになったし、特別に東方のキリスト教徒が人の体で来られた神様の不思議な事件に対してたくさん考えました。歴史の中に来られたイエスに対する関心が高まって、教会はクリスマスを喜びと驚きをもって祝い始めました。

ところで、クリスマスが12月25日に決まったことに対しては色々な学説があります。しかし、本当に重要なのはイエス様が生まれられたことは明らかですが、正確な日は聖書に出ていません。日よりは人間を救うために来られたイエス様自身がより一層重要であるからです。それで、重要なのはどの日でも、クリスマスの主人公はイエス・キリストであるという事実と、神様の子どもは、毎日、救いの祝福を味わいながら、このうれしい知らせを世の中に伝えなければならないという事実です。これがまさに私たちが愛してイエス様をこの世に送られた神様の切実な願いです。

サンタクロース **Santa Clause** 今から約1,700年前、オランダの「ニコラス」**Nicholas**という人は、子どもたちと貧しい人々をととてもたくさん手助けしました。良いことをよくしたニコラスが死んで、人々は「サンタ」**saint**（神聖な人、聖者という呼称）を付けて彼の善行を記念するようになって、サンタ・ニコラスのようにかわいそうな隣を手助けする人をサンタクロースと呼ぶようになりました。しかし、サンタクロースがクリスマスの主人公ではありません。隣を愛して、優しいことをよくするのは良いのですが、サンタクロースが私たちの罪を許してくれて、救うことはできません。真の王、真の預言者、真の祭司であるイエス様だけが私たちが救うことができるのです。

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。

私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。

しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

毎日 クリスマス



イラスト_キム・ジョン

クリスマスはもうキリスト教徒だけの祝祭日ではなく、全世界人の共通の祝祭日だ。さらには、一年の最後を整理しながら新年を約束する日程の中に入っていて、みんなの心の中に負担なくいっしょにいる楽しみを味わわせてくれ、子どもたちには何かの新しい期待をするようにさせる祭りでもある。人生に希望をあたえるクリスマスをビジネスマンが先にマーケティングに活用する知恵があるが、基本的に知っているように、クリスマスはすなわちイエスがキリストとしてこの世に肉をもって生まれたことを歴史的に記念する日だ。だれでも人間には誕生日があって、その日は記念日としてお祝いされる。しかし、人類の心の中に記念される偉大な聖人としてのイエス・キリストの誕生日は、他の宗教の聖人のように記憶されるものの、その前の座に立つのはその人の生活の軌跡と影響力が、人生で記念されるだけのことはあるからだ。自由な人生が問題の中に陥った。神様は、人生問題の解決者としてキリストを送ってくださったが、その方は人間を神様に会うようにさせる預言者でなければならず、人間の罪を解決する祭司でなければならず、そして、その方はサタンの勢力を打ち砕く王でなければならぬ。

結局、人類があがめる聖人でこの立場にふさわしいならば、その人はキリストだ。もし、孔子がこの立場にふさわしいならば、彼は孔子キリストであるから、私たちは彼を通して救われることに間違いはない。もし釈迦がキリストならば、私たちは彼を通して罪を赦されることに間違いはない。もしマホメット

がキリストならば、私たちは彼の名前でサタンの権威を打ち砕きながら自由を味わうだろう。しかし、聖書はこの世に来られた人の中で、ただイエスだけがキリストだと言う。人間は自らの選択で神様を離れたので、今は自分からは神様に会う道を見出すことはできず、キリストだけが神様に会う道であり、人間の罪は重くて大きいので、その罪を解決される道は、ただ十字架にかかれたキリスト以外にはなく、人間の呪いと災いを防ぐ道は、サタンの権威を打ち砕かれた王であるキリストしかないのだ。それで、その方がこの世に肉的に臨まれたはじめての日をキリストの日、すなわちクリスマスと言うのだが、今はその日が人類の祭りとして位置しているのだ。

一年の中で特別に記念される誕生日は、ただその日一日だけだ。しかしキリストの日は、その日一日では意味を生かすには、あまりに日が大きい。なぜなら、人生すべての問題の苦しみは一日でなく、瞬間、瞬間、迫ってくるので、そのすべての日々の中にイエスはキリストとして告白されて、記念日にならなければならないのだ。結婚する夫婦に、結婚のしるしとして指輪をはめて確認するように、人生のすべての日の中に人間が救われたというしるしでキリストが毎日、告白されなければならない。すばらしくて美しいクリスマスの飾りと、派手なショーウィンドーの素敵な姿の中で、人類の救いのキリストは発見されて、その方の働きはその方を見上げるすべての人々に希望の証拠になっている。あなたに光が見えるとしたら、その光を成し遂げるキリストをほめたたえよう!ひょっとして、暗いトンネルの中をすぎるように心がゆううつならば、その環境を抜け出させるキリストに頼りなさい。その方はあなたのすべての問題の解決者で、この世に来られた方であるから、その御名で互いに挨拶しよう。メリークリスマス!メリークリスマス!

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ